

## 木材の分離発注の配慮事項集

### (1) 体制づくり

#### ①分離発注の場合に新たに発生する業務は？

- ・ 分離発注の場合、発注者側に木材を調達する業務と、調達された木材の品質を検査する業務が発生する。そのための体制づくりが必要。
- ・ 発注者側の立場に立って、木材の品質を管理する責任者「木材品質管理者」を定めることが有効。専門家（木材コーディネーター）に業務委託する場合もあれば、今回のように発注者の林業担当者になることもある。
- ・ 使用する木材が多い場合、特殊な材料を用いる場合、森林整備事業で発生する木材を利用する場合等では、基本設計段階から、どこの山からどのような材をどのぐらい調達できるかを調査する必要がある。ただし立木を見て、どのような材が採れるかを見極める目が必要。

### (2) 設計・発注段階

#### ②分離発注に必要な期間と注意点は？

- ・ 今回のように納材の 8 ヶ月前に発注ができれば理想的。もう少し短くても対応できる。必要な木材の量、伐り旬、乾燥能力などを考慮してゆとりを持った工程を立てることが大切。
- ・ 製材所は公共物件だけを扱っているわけではないので、公共建築への納材が一時期に集中することはできるだけ避けることが望ましい。その意味でも分離発注はメリットがある。

#### ③分離発注の場合、通常の発注に追加すべき図書等は？

- ・ 発注者から製材所に対する「納材特記仕様書」、発注者から施工者に対する「支給木材特記仕様書」が必要。
- ・ 仕様、数量、そり・曲り・節の許容範囲、受け渡し方法、保管方法、瑕疵への対応等の責任分担を明記することでトラブルを回避する。
- ・ 内装材の場合は働き幅・長さ・枚数、構造材の場合は木拾い書などの「数量根拠」が必要。設計段階では内装は㎡で拾うが、設計者か施工者が割り付けを検討して、枚数で発注することが望ましい。
- ・ 施工方法やディテールによって歩留まりが変わる。発注段階で詳細納まり図があると、材料の過不足を少なくできる。

#### ④発注時に施工ロスを考慮する必要はある？

- ・ 設計者や発注者は施工ロスを考慮する必要はない。施工上のミスで数量が不足する場合は施工者の負担で補てんする。
- ・ 品質の基準（JAS 等）に満たないものがあれば、当然、納材者の負担で差し替えなければならない。

#### ⑤最終的な寸法調整、表面仕上げはどの段階ですべき？

- ・ プレーナー 4 面仕上げの仕上がり寸法による納品を原則とする。

- ・工事業者決定後、受け渡し時の表面仕上げについて協議を行う場合がある。

**参考 1** 造作材など、歩増寸法で納める場合もある。その場合は、表面仕上げ後に節等が出現した場合の責任範囲を事前に取り決める必要がある。

**参考 2** 超かんな仕上げ予定材の場合、プレーナー仕上がり寸法にコンマ数mmだけ上乗せして納める場合もある。(JAS 基準はプラス側の寸法に余裕がある)

## ⑥ 現場加工手間の範囲について

- ・構造材のプレカット加工や手加工などの刻み工程は工事請負業者が行う。
- ・造作材・内装材は、仕様書に記載される寸法で現場支給される。割り付け工程、長さ切り工程は、工事請負業者が行う。

## ⑦ 発注者は木材調達時にどんな検査をするの？

- ・木材品質管理者は、製造過程で製材・乾燥・仕上げ段階の進捗状況の把握を行う。製造の各段階で製材所に出向き、ロスが出ないように調整を図る。各工程の品質管理体制をチェックし管理書類の提出を求める。
- ・納品時の検査で現物の品質確認と、納品書類の確認を行う。
- ・地域材調達の場合、木材のトレーサビリティに関する書類整備が必要である

## (3) 施工段階

### ⑧ 納材前の調達検査と納材時の受入検査で食い違いが生じたら？

- ・「納材特記仕様書」と「支給木材特記仕様書」に品質基準を明記しておく。(JAS 等)
- ・工事業者の保管状態が悪く材が傷む場合があるので、「支給木材特記仕様書」に、保管方法を指定し、実際に保管状況を現場で確認する。
- ・納材者と施工者の意見が食い違った場合は「木材品質管理者」が判断する。そのことも特記仕様書に記載しておく。
- ・納材後、材を使用する際に梱包を解いて見つかる不具合も、一定期間内であれば施工者は納材者に差し替えを求めることができる。(クーリングオフ的な考え方)

## (4) 竣工後の瑕疵への対応について

### ⑨ 瑕疵の責任はどのように考えればよい？

- ・木材の性質に明らかに反するような設計は避けなければいけない。(例えば板の片側が乾燥して片側が湿潤になるような環境で木材を用いるなど)
- ・施工方法に起因する瑕疵は、施工者の責任になる。
- ・瑕疵の判断基準も特記仕様書に記載する。
- ・分離発注により建設した建築物において、木材の納品後トラブルがあった場合は、建築部局を対応窓口とする。